

			追加・変更意見	追加○/削除×	CBTの満足度十分	医師経験として不適切
1134	薬について	「薬とは何か」		×	○	○
1135		薬の発見の歴史(具体例)	薬の発見の歴史	×	○	○
1136		化学物質が医薬品として治療に使用されるまでの流れ		×	○	○
1137		種々の剤形とその使い方		×	○	○
1138		一般用医薬品と医療用医薬品の違い		×	○	○
1139	現代社会と薬学との接点	先端医療を支える医薬品開発の現状		×	○	○
1140		麻薬、大麻、覚せい剤などを乱用することによる健康への影響		×	○	○
1141		薬害(具体例)、その背景		×	○	○
1141			薬害防止	○		
1142	日本薬局方	日本薬局方の意義と内容		×	○	○
1142			日本薬局方の定義と特徴	○		
1142			日本薬局方通則	○		
1142			他国(例えば、米国、ヨーロッパ)の薬局方との比較	○		
1143	総合演習	医療と薬剤師の関わりについて考えを述べる		×	○	○
1144		身近な医薬品を日本薬局方などを用いて調べる		×	○	○
1145	②早期体験実習	病院における薬剤師および他の医療スタッフの業務を真似し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。		×	○	○
1146		薬局薬剤師の業務を真似し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。		×	○	○
1147		製薬企業および保健衛生、健康に関する行政機関の業務を真似し、社会において果たしている役割について討論する。		×	○	○
1148		保健福祉の重要性を具体的な体験に基づいて発表する。		×	○	○

実務実習

実務実習事前学習

			追加・変更意見	追加○/削除×	CBTの満足度十分	医師経験として不適切
1149	事前学習を始めるにあたって	薬剤師業務	医療における薬剤師の使命や倫理などについて概説できる			
1150			医療の現状をふまえて、薬剤師の位置づけと役割について概説できる			
1151			薬剤師が行う業務が患者本位の「ファーマシー・カンセラー」ケアの増進につながるものであることについて討論する			
1152		チーム医療	医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を説明できる			
1153			チーム医療における薬剤師の役割を説明できる			
1154			自分の能力と責任範囲の限界と他の医療従事者との連携について討論する	×		
1155		医薬分業	医薬分業の仕組みと意義を概説できる			
1156	処方せんと調剤	処方せんの基礎	処方せんの法的位置づけと機能について説明できる			
1157			処方オーダーリングシステムを概説できる			
1157						電子カルテシステムの概説と薬剤師の権限
1158			処方せんの種類、特徴、必要記載事項について説明できる			
1159			調剤を法的根拠に基づいて説明できる			
1160			代表的な処方せんの例の処方における注意点を説明できる			
1161			不適切な処方せんの処置について説明できる			
1162		医薬品の用法・用量	代表的な医薬品の用法・用量および投与計画について説明できる			
1163			患者に適した剤形を選択できる			
1164			患者の特性(新生児、小児、高齢者、妊婦など)に適した用法・用量について説明できる			
1165			患者の特性に適した用量を選択できる			
1166			病態(腎、肝疾患など)に適した用量設定について説明できる			病態(腎、肝疾患など)背景、臨床検査値、TDMなど個体差の要因となる事項を考慮した用量設定について説明できる
1167		服薬指導の基礎	服薬指導の意義を法的、倫理的、科学的根拠に基づいて説明できる			
1168		調剤室業務入門	代表的な処方せん例の調剤を模擬して調べる			
1169			処方せんに基づいて調剤室業務を模擬して調べる			
1170			処方せんに基づいて調剤室業務を模擬して調べる			
1171						

			追加・変更意見	追加○/削除×	内容確認済み	最終確認済み
1172		処方せんの意義の意義とその必要性について説明できる				
1173	疑義照会	疑義照会の意義と根拠	疑義照会の意義について、法的根拠を含めて説明できる			
1174			代表的な配合変化の組合せとその理由を説明できる			
1175			特定の配合によって生じる医薬品の性状・外観の変化を説明できる			
1176			不適切な処方せん例について、その理由を説明できる			
1177		疑義照会入門	処方せんの問題を解決するための薬剤師と医師の連携の重要性を説明できる			
1178			代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる			
1179			代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる			
1180			代表的な医薬品について相互作用を列挙できる			
1181			疑義照会の流れを説明できる			
1182			疑義照会をシミュレーションできる	×		
1183	医薬品の管理と供給	医薬品の安定性	医薬品管理の意義と必要性について説明できる			
1184			代表的な剤形の安定性、保存性について説明できる			
1185		特別な配慮を要する医薬品	毒薬・劇薬の管理および取扱いについて説明できる			
1186			麻薬、向精神薬などの管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる			
1187			血漿分画製剤の管理および取扱いについて説明できる			
1188			輸血用血液製剤の管理および取扱いについて説明できる			
1189			代表的な生物製剤の種類と適応と説明できる			
1190			生物製剤の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる			
1191			麻薬の取扱いをシミュレーションできる	×		
1192			代表的な放射性医薬品の種類と用途を説明できる			
1193			放射性医薬品の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる			
1194		製剤化の基礎	院内製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる			
1194				○		
1195			薬局製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる			
1196			代表的な院内製剤を調製できる	×		

			追加・変更意見	追加○/削除×	内容確認済み	最終確認済み
1197			無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる			
1198			抗生性腫瘍剤などの取扱いにおける注意事項について			
1199		注射剤と輸液	注射剤の代表的な配合変化を列挙し、その原因を説明できる			
1199				○		
1200			代表的な配合変化を抽出できる	×		
1201			代表的な輸液と経管栄養剤の種類と適応を説明できる			
1202			体内電解質の過不足を判断して補正できる	×		
1203		消毒薬	代表的な消毒薬の用途、使用濃度を説明できる			
1204			消毒薬調製時の注意点を説明できる			
1205	リスクマネジメント	安全管理	薬剤師業務の中で起こりやすい事故事例を列挙し、その原因を説明できる			
1206			誤りを生じやすい投薬例を列挙できる			
1207			院内感染の回避方法について説明できる			
1208		副作用	代表的な医薬品の副作用の初期症状と検査所見・重篤な副作用(SJS, TEN)を具体的に説明できる			
1209		リスクマネジメント	誤りを生じやすい調剤例を列挙できる			
1209				○		
1210			リスクを回避するための具体策を提案できる			
1211			よく事故が起こる薬物についての過量投与時の基本的対処(治療)方法	○		
1211				○		
1211			プレアポイド報告	○		
1212	服薬指導と患者情報	服薬指導に必要な技能と態度	患者の基本的権利、自己決定権、インフォームドコンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる			
1212				○		
1213			代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる			
1214			代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる			
1215			インフォームドコンセント、守秘義務などについて説明できる			
1216			適切な質問を行い、適切な手順を経て服薬指導できる			